



六郷

～元気に輝いて～

令和4年度
第30号
2022.10.7

令和4年度も半分を終えました。コロナ禍で学習発表会こそ延期になりましたが、その他の学習活動や行事は概ね終えることができました。保護者の皆様方からは、感染防止のために様々なご配慮をいただいたことで、子どもたちは元気に学校生活を送ることができました。これまでのご協力、ご支援、誠にありがとうございました。

さて、終業式では、しみずっ子チャレンジでの頑張りが見られるようになったこと、あいさつ運動のおかげであいさつがよくなってきたこと、しみずっ子活動や行事などで協力がたくさん見られたことの3点を前期の成果として子どもたちに伝えました。学期を通して、頑張りがたくさん見られたことをうれしく思っています。

一人一人の頑張りについては、今日お渡しした通知表を参考に、どんなことを頑張ったのかを子どもたちからお聞きになってみてください。そして、その頑張りをお認め、後期へのアドバイスをいただければ幸いです。

短い秋休みを経て12日から始まる後期には、一人一人が、前向きにチャレンジし、より成長してくれることと楽しみにしております。

前きにがんばったことやできるようになったこと 2年松組 ○○ ○○

ぼくは、前きにひっ算をすらすらできるようになりました。さいしょはむずかしかったけど、れんしゅうをがんばったら、だんだん慣れてきて、すらすらできるようになりました。うれしかったです。つぎに、むずかしいひっ算がでてきても、すらすらできるようになりたいです。

もうひとつがんばったことがあります。プールのべんきょうです。○○先生や○○先生のお話を聞いてがんばったら、およぐのがじょうずになってうれしかったです。上の学年になったら、もっとじょうずになって、うちの人や先生にほめてもらいたいです。



前期のぼくをふりかえって 4年松組 ○○ ○

4年生のはじめは勉強がむずかしくてついていけないかなと思いました。うまくやっていけないかなとも思っていました。

ぼくが、前期にがんばったことは、二つあります。一つは、一人勉強を毎日50分続けたことです。3年生のときよりも、倍むずかしいことでした。もう一つは、給食を全部食べて、サッカーや鬼ごっこをやって健康に元気に過ごしたことです。給食では、アスパラが苦手ですが、それでも食べました。自分がんばったと思います。

4年生から新しく始まったしみずっ子チャレンジでは、二つのことに挑戦しました。

夏休み中、野菜の水やりや洗濯干しに挑戦しました。簡単にできるかと思ったけれど、実はむずかしいことでした。でも、最後まで挑戦できて、校長先生からチャレンジ証をもらえて、挑戦してよかったと思いました。二つ目は、柔道の「たいおとし」のこつをつかむためにいっぱい練習したチャレンジです。ここで、ぼくのチャレンジをみなさん見てください。

前期は思ったより、勉強や運動、学級活動が普通にできました。秋休みに、前期の疲れをとって、後期に向けてパワーをつけたいと思います。



前期の頑張りとこれから 6年竹組 ○○ ○○○

ぼくは春から、どんな6年生になろうか日々考え、色々なことにチャレンジしてきました。その中でも、自信をもって頑張ったと言えることが三つあります。

一つ目は計算の上達です。6年生になると、計算で求めた数を使って、さらに計算し、問いに答えるなど、問題が今まで以上に複雑になります。正確で速い計算力が不可欠です。授業の時間いっぱい集中して取り組みました。間違えたときは、なぜなのか考えることで自分の苦手とするところも見えてきました。計算は生活の中でも使う場面が多くあります。今後も、「速く・簡単・正確」の計算はかせを目指していきたいです。

二つめは、下学年との関係づくりです。最高学年としてどんなふうに関わるとよいのか、どんな姿を見せるべきなのか考えてきました。思いやりの心をもって接することで、優しさは広がっていくこと。自分が一生懸命に取り組むことで、みんなも一緒に頑張れること。よくするきっかけはいつも自分にあることに気付きました。後期も学校を自分からよりよくしていきたいです。

三つめは、バスケットです。チームをリードできるように、仲間の動きをよく見ながら、プレーするよう心がけました。空いているところにパスを出したり、困っている仲間がパスを出しやすいように動いたり、自分のことだけでなく、チームのことを考えました。パスやドリブルをみんなであつないで点を取るの面白さを多くの人に広めていきたいです。

6年生の半分が終わろうとしている今、できたことはばかりでなく、「もっとこうしたかった」という思いもあります。その気持ちを大切に後期も努力し続けていきたいです。

